

## 自然環境保全基礎調査の目的

### 1. 根拠・経緯

「自然環境保全法」の第4条に「基礎調査の実施」規定。

自然環境保全法（昭和 47. 6. 22 制定）

（基礎調査の実施）

第4条 国は、概ね5年ごとに地形、地質、植生及び野生動物に関する調査その他自然環境の保全のために講ずべき施策の策定に必要な基礎調査を行うよう努めるものとする。

昭和48年度に第1回自然環境保全基礎調査の実施。以後概ね5年を一区切りに調査を行い、現在平成17年度を初年度とする第7回基礎調査を実施中。

### 2. 目的・趣旨

自然環境保全施策を科学的・客観的アプローチから推進するための主要な基礎資料を提供。具体的には、

- (1) 全国的な観点から自然環境の現状を的確に把握
- (2) 概ね5年ごとに行う調査の積み重ねにより長期的な視点から自然の時系列的変化を把握
- (3) 調査成果を記録・保存・公開し、自然環境のデータバンクを整備
- (4) 国土計画、環境基本計画、自然公園等の自然環境保全計画、環境アセスメント等、各種計画策定や開発計画立案に際しての基礎資料を提供

### 3. 調査方法・体制

- (1) 各分野の専門家による「自然環境保全基礎調査検討会」及び分科会等を設置
- (2) 各調査は、都道府県、公益法人・民間会社等への委託・請負で実施。また、学会や専門家、鳥獣保護員等への情報提供依頼、一般市民のボランティア参加も併用して広範な情報を収集

# 自然環境保全基礎調査の概要と傾向

調査回次	第1回調査	第2回調査	第3回調査	第4回調査	第5回調査	第6回調査	第7回調査
調査期間	S48	S53～54	S58～62	S63～H4	H5～H10	H11～H16	H17～H21
基本コンセプト	<ul style="list-style-type: none"> <li>科学的な観点に立った調査により国土の自然の現況をできるだけ正確に総合的に把握</li> <li>守るべき自然、復元・育成・整備すべき自然の抽出</li> <li>全国的な観点に立った自然保護行政を推進するための基礎資料整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然環境に関する網羅的かつ客観的な基礎情報の収集</li> <li>5年毎に繰返し実施するという性格をより明確化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>前回調査のコンセプトを基本的に踏襲</li> <li>定点での変化状況把握（モニタリング・定点調査の観点を導入）</li> <li>動物分布調査対象種の拡大と専門家ネットワーク構築により、長期的なデータ蓄積を図る視点を導入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>前回調査のコンセプトを基本的に踏襲</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境行政上の要請に合わせた調査の実施（生物多様性調査（H6～）、海域自然環境保全基礎調査（H9～）を拡充）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生態系の質・量的把握の試行</li> <li>ストックとしての自然環境情報の更新</li> <li>環境影響評価法の施行等による新たな自然環境情報ニーズ（GIS化を含む）への対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生態系の定点観測（モニタリングサイト1000）の継続的実施</li> <li>第6回調査に引き続き、自然環境情報の蓄積・更新</li> <li>新たな技術の適用による調査手法の検討開発等</li> </ul>
主な調査項目	<p>植生自然度調査</p> <p>1/20万現存植生図作成、植生自然度10段階評価 【目的】自然の人工化の度合を評価。守るべきエリアを抽出。</p>	<p>植生調査</p> <p>1/5万現存植生図作成 【目的】地域レベルでの計画に対応できる植生図の作成</p>		<p>植生調査</p> <p>ランドサット画像により植生改変地抽出、植生図部分修正 【目的】省力化、コストダウン</p>	<p>湿地調査</p> <p>ラムサール湿地定義に準拠した湿地のリストアップ 【目的】湿地保全の基礎情報取得</p>	<p>植生調査</p> <p>1/2.5万現存植生図作成 【目的】環境アセス対応、植生図全面改訂・精度均質化</p>	
	<p>すぐれた自然調査</p> <p>「全国」「地方」「都道府県」の3つのレベルのすぐれた自然を選定。 【目的】守るべき自然とその分布を特定</p>	<p>動物分布調査</p> <p>大・中型哺乳類、繁殖鳥類等の全国分布図を作成 【目的】野生動物保護管理手法確立（哺乳類）、希少性や絶滅危険性の判定（鳥類）</p>	<p>動植物分布調査</p> <p>一般ボランティア参加の「環境指標種調査」、専門家ボランティアの「全種調査」2本立て 【目的】普通種情報集積、普及啓発（一般ボランティア）、希少種等施策対象の洗い出し（全種調査）</p>	<p>巨樹・巨木林調査</p> <p>幹周り3m以上の巨樹・巨木林をリストアップ 【目的】シンボリック自然の現況把握</p>	<p>種の多様性調査</p> <p>動植物分布調査を大幅拡充（専門家、都道府県）・鳥類については20年経年変化追跡 【目的】生物多様性保全のための基礎情報集積</p>	<p>種の多様性調査</p> <p>中・大型哺乳類・鳥類の20年経年変化追跡 【目的】新鳥獣保護法対応、分布域変化把握</p>	<p>種の多様性調査</p> <p>既存データの少ない生物分類群に関する情報収集等 【目的】分布域変化把握、レッドデータブック改訂等</p>
	<p>環境寄与度調査</p> <p>関東地方の植生現存量、植生生産量を計算 【目的】「自然環境と人間活動とのかかわりあい」「都市における自然環境の役割」等を定量的に評価</p>	<p>特定植物群落調査</p> <p>選定基準に基づき保護を要する群落を抽出 【目的】保護対象の抽出、国土レベルでの配置、配分の基礎資料整備</p>	<p>特定植物群落調査</p> <p>追加調査、追跡調査、生育状況調査の3本立て 【目的】保護対象抽出（追加）、簡易モニタリング（追跡）、典型的群落のモニタリング（生育状況）</p>	<p>生態系総合モニタリング調査</p> <p>全国5ヶ所で、10km四方の地域の生態系モニタリング 【目的】人為の影響の予想される地域の生態系動態モニタリング</p>	<p>遺伝的多様性調査</p> <p>動植物40種の遺伝子分析 【目的】遺伝子解析技術の生物多様性保全への応用ケーススタディ</p>	<p>藻場・干潟調査</p> <p>重要湿地500で選定された藻場・干潟の調査 【目的】浅海域生態系の基礎情報の収集</p>	
		<p>海岸調査、湖沼調査、河川調査</p> <p>海岸、湖岸、河岸の人工化の状況を調査、原生流域の抽出等 【目的】水辺の自然性の消失を監視、保全すべき原生流域の抽出</p>			<p>重要沿岸域生物調査、海棲動物調査</p> <p>干潟・藻場・サンゴ礁計34ヶ所、ウミガメ、アザラシ、スナメリ分布調査 【目的】海洋生物調査のケーススタディ</p>		
						<p>モニタリングサイト1000</p> <p>森林、里地、河川湖沼、サンゴ礁、藻場、干潟等の生態系の定点観測 【目的】生態系の質的把握</p>	
調査費用	4億円	14億円	14億円	12億円	28億円 多様性調査・海域調査（それぞれ第1期）を含む	35億円（うちモニタリングサイト1000：8億円） 多様性調査（第2期）を含む	平成17・18年度合計：12億円 （うちモニタリングサイト1000：6億円）
調査体制	<p>委員会1、小委員会等5、延べ69人</p> <p>都道府県委託（調査） 民間委託（情報処理）</p> <p>調査員数：詳細不明</p>	<p>検討会1、分科会等21、延べ149人</p> <p>都道府県委託（調査） 民間委託（鳥類調査、情報処理）</p> <p>調査員数：植生、特定植物群落各500名 哺乳類 2200名 野鳥の会 1000名</p>	<p>検討会1、分科会等16、延べ126人</p> <p>都道府県委託・支出委任（調査） 民間委託・請負（海岸調査、情報処理） ボランティア調査</p> <p>調査員数：植生、特定植物群落各500名 一般ボランティア 10万名 動物専門家 600名 野鳥の会 1600名</p>	<p>検討会1、分科会等14、延べ122人</p> <p>都道府県委託（調査） 民間委託・請負（調査、情報処理） ボランティア調査</p> <p>調査員数：植生等未集計（大体前回並） 一般ボランティア10万名 動物専門家 1200名 鳥獣保護員 1300名</p>	<p>検討会1、分科会等17、延べ137人</p> <p>同左</p> <p>調査員数：植生等未集計（大体前回並） 一般ボランティア10万名 動物専門家 2400名 鳥獣保護員 1000名 野鳥の会 1000名</p>	<p>検討会1、分科会等18、延べ152人</p> <p>同左</p> <p>調査員数：植生等未集計（大体前回並） 一般ボランティア 2,600名 動物専門家・鳥獣保護員等 1,900名 鳥獣保護員 1000名 野鳥の会 1400名 海棲生物専門家 53名</p>	